



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお、原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

国立天文台研究教育職員 (先端技術センター 教授)

国立天文台では、以下のようにALMAを含めた望遠鏡に搭載するミリ波・サブミリ波帯ヘテロダイン受信機の研究開発を主導する教授を公募します。関連する皆様の積極的な応募を期待します。

1. 教授1名
2. (1) 国立天文台先端技術センター
(2) 東京都三鷹市
3. 応用物理学、電気・電子工学、または電波天文学
4. 国立天文台は、日米欧3極による国際プロジェクトであるALMA望遠鏡をはじめとして、さまざまな電波望遠鏡を運用しています。今回公募する教授には、国立天文台において、国立天文台がこれまでに野辺山宇宙電波観測所からALMAへと30年以上にわたって引き継いできた超伝導デバイス製造技術の維持・発展に務めるとともに、ALMAを含む電波望遠鏡のための超伝導デバイスの安定した供給に寄与し、さらに次世代受信機の開発計画を積極的に推進していただく研究者を求めます。本職の教授には、ALMA受信機の高周波化や超広帯域化、マルチビーム化等の具体的な開発課題に取り組んでいただくほか、さらに将来の電波天文学の発展に向けて集積型SIS受信機の開発を目指すなど、国立天文台を通じて、世界における電波天文用の超伝導デバイスの開発を牽引していただきます。

なお、採用時の所属は国立天文台先端技術センターとなりますが、ALMA等に関する部署に異動することがあります。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし（65歳定年）
6. 工学又は理学の分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
応募者は電波天文観測装置に卓越した知識・経験をもち、国際ALMA受信機開発チームの主要メンバーとして活躍できる資質をもっていることが期待されます。特に、日本国内や諸外国の関係者（研究者を含む）と良好な協力関係を構築し維持できるコミュニケーション能力を必須とし、また、face-to-face会議やビデオ会議、電話会議等において、議論をリードできる英語能力を有していることも必須とします。
7. 以下の書類（英文）をpdfファイルとし、電子メールに添付して送付してください。
 - (1) カバーレター
 - (2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください）
 - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと）
 - (4) 主要論文3編のpdfコピー
 - (5) 職務に対する抱負と計画
 - (6) 推薦書2通以上（応募者からの書類に含めず、letterを依頼した方から直接9. (1) の提出先に応募締切までに届くよう依頼してください）。
 - (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（e-mailアドレス、電話番号）
8. 2017年11月30日（木）17時（日本時間）必着
9. (1) E-mail（応募専用）：
apply-atc-prof20171130@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“application for professor of Advanced Technology Center”と明記してください。

- (2) 国立天文台先端技術センター長 野口卓
e-mail: Takashi.Noguchi@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“question on professor of Advanced Technology Center”と明記してください。
10. ・すべての応募書類(上記7の(1)~(7))はそれぞれpdfファイルに変換し、メールに添付すること。
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください(メール一通最大10 MB程度まで)。
・郵送や直接持参による応募は受け付けません。
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません。
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には、apply-atc-prof20171130@nao.ac.jpへお問い合わせください。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

ついて意見を述べられる方2名の氏名と連絡先、(6) e-mail アドレス

8. 応募は日本時間2017年10月2日(月)から10月31日(火)までの間に行ってください。
9. (1) 応募書類は下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行ってください。
<https://application.nao.ac.jp/jj2017/>
(2) 国立天文台副台長(総務担当) 渡部潤一
e-mail: apply-jj2017@nao.ac.jp
10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合はapply-jj2017@nao.ac.jpへお問い合わせください。面接を行う場合があります。その際の交通費、宿泊費は応募者の負担とさせていただきます。
11. 給与待遇は年俸制になります(年額の12分の1を月額支給)。選考は国立天文台運営会議で行います。自然科学研究機構国立天文台は男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

核融合科学研究所助教

1. 助教1名
2. (1) ヘリカル研究部核融合理論シミュレーション研究系プラズマ輸送解析研究部門
(2) 岐阜県土岐市下石町322-6
3. プラズマ物理学
4. 本研究部門では、複雑な3次元磁場配位におけるプラズマの密度・温度と径電場の全域的分布を考慮して、大型ヘリカル装置(LHD)や将来のヘリカル型核融合炉プラズマにおける新古典・乱流輸送過程を高精度に解析・予測することが可能な大規模大域的輸送シミュレーションコードの開発を計画している。
今回公募する助教には、以下の研究における中心的役割を期待する。
- 1) 数値実験炉の構築を目指し、ヘリカル型プラズマに対する大規模輸送シミュレーションコードの研究開発を行う。
- 2) LHDプラズマ等の実験結果との比較によりシミュレーション結果の検証を行い、プラズマ閉じ込め物理機構の理解を深め、核燃焼プラズマの輸送予測性能の向上およびヘリカル核融合炉の設計に貢献する。
- 3) 国内外の理論シミュレーション・実験・炉工学の研究者との共同研究を積極的に行い、数

国立天文台研究教育職員 (女性助教)

1. 研究教育職員 助教1名(年俸制)
2. (1) 選考後に決定
(2) 選考後に決定
3. 天文学および関連分野
4. 自然科学研究機構国立天文台は日本の天文学のナショナルセンターとして、現在13のプロジェクト等を推進し世界最先端の大型観測研究施設を共同利用に供するとともに、天文学およびその関連分野の研究・開発を行っています。ついては、理論・観測あるいは機器開発など分野を問わず、国立天文台を舞台に自ら研究・開発・あるいは各種業務をリードしていく気概にあふれた若手の公募を行います。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし(5年目に助教としての再審査を行い、他の適切な職務に異動していただくことがあります)
6. 大学院博士課程修了またはそれと同等以上の女性
7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績, (4) 研究計画書(国立天文台で希望する所属先と、そこでどのような研究・開発・業務を行いたいかを具体的に記述してください), (5) 本人に

値実験炉研究プロジェクトを推進する。

5. (1) 採用決定後のなるべく早い時期
- (2) 任期5年, 再任可
6. 博士の学位を有すること(見込み含む)等
7. ((2)~(5)については6部必要)
 - (1) 履歴書: 原則として市販の用紙を使用し, 可能な就任時期も明記すること.
(写真貼付, 取得学位名を明記のうえ, 連絡先にe-mailアドレスを記入すること.)
 - (2) 研究歴: 任意の様式による. 2,000字程度.
 - (3) 就任後の抱負: 任意の様式による. 2,000字程度.
 - (4) 研究業績発表論文リスト: 共著の論文については, 共著者名をすべて記入すること. また, それぞれの論文について, レフリーによる審査(査読)を経たものであるか, 否かの区別を明確にすること. また, リストとは別に, 主要な論文(3編程度)についてはその概要と本人の寄与についてまとめること.
(任意の様式による.)
なお, リスト作成にあたっては, 当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページ(アドレスは下記11.参照)に掲載)によること.
- (5) 論文別刷: 主要な論文(学位論文および投稿中または投稿予定を含む)3編程度の別刷を添付すること.(別刷がない場合はコピーでも可.)
- (6) 推薦書: 推薦者がある場合は推薦書, または応募者について参考意見を述べることできる方2名程度の氏名および連絡先を記載した文書. いずれも, 任意の様式による.
8. 2017年10月31日(火)17時(必着)
9. (1) 〒509-5292土岐市下石町322-6
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
- (2) ・提出書類についての問い合わせ
核融合科学研究所管理部総務企画課人事係
電話 0572-58-2013(直通)
- ・研究内容等についての問い合わせ
核融合科学研究所ヘリカル研究部核融合理論シミュレーション研究系
研究主幹教授 藤堂泰
電話 0572-58-2270(直通)
10. 封筒の表に「核融合理論シミュレーション研究系プラズマ輸送解析研究部門(助教)公募関係書類」と朱書きし, 郵送の場合は書留とすること. また, この公募以外の公募書類を同封しないこと.

11. 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します. 研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には, 女性を採用します. 詳細は以下を参照ください.

URL: <http://www.nifs.ac.jp/jinji/>

2018年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合(EACOA)は, 研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関: 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所の連合体です.

EACOAは優秀な若手人材を対象として, 2012年からEACOA Fellowshipを創設しました. 公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です. 任期は3年です. 自立した研究者として, さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら, 研究活動を行っていただきます. 身分はEACOAの機関の博士研究員扱いです. 任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関(一機関につき最短でも1年間以上滞在)で研究していただくことが採用の条件です.

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
- (2) 中国科学院国家天文台(紫金山天文台, 上海天文台を含む), 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれか. 本人の希望による.
3. 天文学, 天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
- (2) 3年
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者, 国籍は問わない, 英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究計画, (4) 受入れ研究者の確認書, (5) 論文リスト
8. 2017年11月15日
9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>
- (2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室
naoj.global@gmail.com
10. 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれかにEACOA Fel-

lowの受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。EACOAでは、上記各機関が受け入れるフェローの人数がなるべく均等になるようにするため、採用に当たって調整することがあります。

書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。

以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

<http://www.eacoa.net/program2018.php>

11. 月額US\$5,000の給与、年間約US\$20,000の研究費、旅費、引越費用等が支払われます。
 審査にあたって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。
 採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2018年2月末までに直接応募者に通知されます。

見書または推薦状3通、(5)論文リスト

8. 2017年11月15日

9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>

(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室
naoj.global@gmail.com

10. 書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。

以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

http://www.eacoa.net/program_eao2018.php

11. 月額US\$5,000の給与、および引越費用(4,000米ドルを上限とする)等が支払われます。
 審査にあたって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。
 採用審査はEAO所長とEACOA審査委員会が合同で行います。結果は2018年2月末までに直接応募者に通知されます。

2018年東アジア天文台 (East Asian Observatory (EAO)) フェロー

東アジア天文台(EAO)は、2015年に東アジアの四つの主要な天文研究機関：中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天文物理研究所が共同して、東アジア地域の観測天文学研究協力を促進するために、米国ハワイ州ハワイ島に設立されました。現在、マウナケア山頂にあるジェームス・クラーク・マックスウェル望遠鏡(James Clerk Maxwell Telescope (JCMT))を運営しています。

EAOは優秀な若手人材を対象として、2018年からEAO Fellowshipを創設します。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です。EAO Fellowは、50%の時間をEAOの運用支援に使い、残りの時間はEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。

1. 研究員 1名
2. (1) 東アジア天文台(EAO)
- (2) 東アジア天文台(EAO), 米国ハワイ州ヒロ。
3. 天文学, 天体物理学
4. 天文台の運営支援と各自の研究や開発
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
- (2) 3年
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者、国籍は問わない、英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究計画, (4) 意

東京大学宇宙線研究所助教

1. 助教・1名
2. (1) 宇宙線研究所, (2) 千葉県柏市
3. 4. 本研究所が推進するKAGRAの観測開始後には、そのデータ解析を行い、観測結果の宇宙物理学的意義の解釈を行う必要があります。この体制を整えるため、高エネルギー天文学や重力波天文学の理論的研究を推進しつつ、重力波データ解析手法の開発にも従事できる助教1名を求めます。また、同時にKAGRA検出器のデータサーバーなどの計算機群の維持・管理・運用業務にも貢献していただきます。ただし、これまでのソフトウェア開発やサーバ管理の経験は問いません。
 なお、研究面では、本研究所所属の浅野勝晃准教授、田越秀行准教授らと共同で研究を進めることが期待されています。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
- (2) 任期5年。着任後3年間をテニュアトラック期間とし、3年が経過した時点でテニュア着任の審査を行い、審査で認められれば任期なしに移行します。
6. 雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。
7. 応募者は以下(1)から(5)までの書類をe-mailに添付(電子ファイル)で提出してください。(6)の意見書・推薦書は、作成者から直接e-mailに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・意見書・推薦書のファイル形式はpdfと

します。e-mailによる提出に対しては、受信した旨の返信をしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。

- (1) 履歴書
- (2) 研究歴 (A4判で3頁以内)
- (3) 業績リスト (論文リスト, 研究発表リスト等), および主要論文別刷 (5編以内)。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。

- (4) 着任可能時期
- (5) 着任後の研究計画 (A4判で3頁以内)
- (6) 意見書または推薦書2通

8. 2017年10月23日(月)正午必着。

9. (1) 東京大学宇宙線研究所総務係
e-mail: application@icrr.u-tokyo.ac.jp
メールの件名は「重力波・高エネルギー天体助教応募」としてください。

- (2) 東京大学宇宙線研究所 田越秀行
電話: 04-7136-5147
e-mail: tagoshi@icrr.u-tokyo.ac.jp
または、東京大学宇宙線研究所 浅野勝晃
電話: 04-7136-3187

10. 応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。

11. 選考: 選考委員会による書類選考の後、面接を受けていただくことを原則とします。面接を受けていただく方には詳細を連絡します。その他: 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

2017年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

1. 第109巻10号
2. Siyi Feng (研究員: Max-Planck-Institut für Extraterrestrische Physik)
3. 2017年12月1日・国立天文台
2. Tie Liu (研究員: Korea Astronomy and Space Science Institute)

3. 2017年6月1日・中国国家天文台(勤務地: 東アジア天文台, 米国ハワイ州, Hilo)

研究会・集案案内

京都大学花山天文台京大ウィークス 特別公開のお知らせ

京都大学花山天文台では、来たる10月28日に特別公開を行います。

花山・飛騨天文台で現在行われている最先端の天文学研究を、わかりやすく説明しますので、お気軽にお申込みください。(入場無料, 一部有料企画あり)
〈日時〉2017年10月28日(土) 13時から20時
〈内容〉

望遠鏡による天体観望(昼: 太陽, 夜: 月など).
講演会: 飛騨天文台で観測中の太陽画像の紹介.
4次元デジタル宇宙シアター(国立天文台開発のミタカに、京大発のコンテンツを追加し、3D宇宙へライブ解説でご案内).

太陽黒点スケッチや工作などの各種体験コーナー.
〈交通機関〉

京都市営地下鉄東西線蹴上駅(1番出口)よりシャトルバスを運行します。

自家用車でもお越しいただけますが、駐車場の数に限りがありますので、なるべくシャトルバスをご利用ください。

〈申込方法〉

インターネットでの事前申込みが必要です。
花山天文台のホームページ

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/>

申込受付期間: 9月22日(金)から10月12日(木)
定員: 300名 [申込み多数の場合は抽選]
45cm屈折望遠鏡による観望(有料)は、定員100名 [対象年齢: 小学生以上]
抽選結果は10月20日までに返信します。

〈問合せ〉

Tel: 075-581-1235
e-mail: kengaku-kwasan@kwasan.kyoto-u.ac.jp
e-mailの場合、件名を「10/28一般公開」としてください。

〈主催〉京都大学大学院理学研究科附属天文台

〈共催〉認定NPO法人花山星空ネットワーク, 京都花山天文台の将来を考える会

〈後援〉京都市教育委員会, 京都市教育委員会

会務案内

第5期日本天文学会代議員選挙に関する公示

2017年9月20日
選挙管理委員会委員長 青木和光

定款第30, 31, 32, 33条および代議員選挙施行細則(以下「細則」)に基づき、第5期代議員21名(任期2018~2021年度の4年間)の選挙を下記のとおり実施いたします。選挙日程は以下のとおりです。

9月20日(水): 選挙公示

9月20日(水)~10月9日(月): 選挙管理委員会への
立候補受付

9月20日(水)~10月5日(木): 推薦委員会への推薦
受付

11月10日(金): 立候補者リスト, 推薦委員会による
候補者リスト, 有権者名簿, および
投票用紙を正会員へ発送

11月10日(金)~12月12日(火): 投票期間

12月13日(水): 開票

1. 選挙権および被選挙権を有する方は、公示の時点での正会員です。ただし、非改選代議員は被選挙権がありません(細則第5条)。非改選代議員のリストを下記に示します。被選挙権者、候補者、有権者名簿は11月10日に発送します。
2. 投票は10名以内の無記名連記とします(細則第9条)。
3. 立候補される方は、選挙管理委員(election_com@asj.or.jp)宛に、氏名、会員番号および立

候補の意志を電子メールで送ってください。所信表明がある場合には、PDF形式で1ページ以内に文章のみで記載し、添付してください(細則第7条)。

4. 候補者を推薦される場合には、推薦委員会(suisen2017@asj.or.jp)宛に、推薦する正会員の氏名を電子メールで送っていただくか、ウェブフォームをご利用ください(細則第7条)。

候補者推薦フォーム:

<http://www.asj.or.jp/asj/suisen/>

5. 有権者には、有権者名簿、立候補された方と推薦された方の名簿、および投票用紙を発送します(細則第8条)。
6. 選出された代議員の名簿は、2018年1月20日発行予定の天文月報2月号に発表します(細則第11条)。

【非改選代議員】(19名)〈任期: 2016.4.1~2020.3.31〉

相川祐理	青木和光	大朝由美子	大向一行
岡村定矩	奥村幸子	海部宣男	河合誠之
草野完也	小久保英一郎	柴田一成	須藤靖
田村元秀	常田佐久	戸谷友則	林左絵子
馬場彩	望月優子	渡部潤一	

2016年度ご寄付者名

2016年度に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。(敬称略/受付順)

佐藤明達, 和泉究, 谷川衝, 櫻井隆, 向井優,
渡邊鉄哉, 坂尾太郎, 青木和光, 井田茂, 芹野素子

※パスワードが変わりました! ※

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol110(6文字)の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕(委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成29年9月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内

公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)